

伸び続ける大学合格実績 中でも目立つ一貫生の飛躍

創立以来、文武両道の全人教育に力を注いできた同校ですが、ここ数年の大学合格実績の伸びには目を見張るものがあります。3年間で早慶上理が1.9倍、GMARCHが2.3倍になるなど、難関大学の合格者数が右肩上がりに増えています。その背景について、進路指導部長の山崎直子先生は、次のように分析します。

「主要教科を中心とした授業の充実と教師と生徒の信頼関係をベースにした『きめ細かな指導』。これら本校が重視してきた取り組みが、今年が良い形で実を結びました。中でも中高一貫生の伸びは著しく、中1の早い段階で学習習慣が確立し、教師との信頼関係が築けていることから、落ち着いた学習環境の中で6年間を過ごせたのが大き



『英語教室』には生徒1人1台のパソコンを完備。先生からの指示は、ヘッドフォンを通して全体または個別に伝えられます。

先生の側から積極的に声をかけ 学習&進路選択をサポート

同校がモットーとする『きめ細かな指導』は、先生方の指導姿勢によく表れています。わからない部分を聞きに来た生徒に対しては、いねいに指導することはもちろん、授業に遅れがちな生徒がいたら先生の側から声をかけ、個別に指導を行います。

「休み時間や放課後は、校内のあらゆる場所で個別指導が行われています。こうした伝統もあって教師と生徒の距離が近く、大学へ進んだ後『予備校の先生よりもこの学校の先生の指導のほうに合っていた』と振り返る卒業生が



ネイティブの講師による授業では、ゲームの要素を取り入れたアクティブな授業が展開されています。

大学合格力強化計画

質の高い授業と きめ細かな指導で 生徒一人ひとりの 未来を切り拓く

昭和学院

この学校の情報は「SPOT」へ



「本校は11年前まで女子校だったこともあり、現在でも約7割の生徒が文系学部へ進学しています。こうした背景から、入試で大きなウェイトを占め、日々の積み重ねが大切な英語の学力を伸ばすことが、大学受験の鍵を握っていると考えています。」

平成22年に完成した新校舎には、生徒1人1台のパソコンを備えた『英語教

少なくありません」

生徒達は、中1から『特進クラス』と『進学クラス』に分かれ、さらに高2進級時には文系・理系を選択します。これらの節目にも、先生が積極的にかわりを持ち、生徒一人ひとりの適性や興味・関心を加味しながらアドバイスしています。

「高2の夏休みには、全生徒が3〜5大学のオープンスクールに参加し、レポートを提出します。そこで『この大学のこの学部へ行きたい』と書いてきた生徒には、教師が理由や必然性を聞くなどして、より適切な進路が選べるようにしています」

同校では、朝と放課後に補習を開き、定期考査前には遅れがちな生徒をサポートする『追いつける補習』と、さらなる実力アップをめざす『差をつける補習』を開いています。また、長期休暇中にも生徒一人ひとりの習熟度やニーズに応じて、多様な講座を開設しています。これらの補習・講習も、先生方

室』があります。各パソコンには、自ら発した英語を音声波形で確認して正しい発音と比較できるソフト、外国映画を使つてリスニング力を高められるソフトなどが入つていて、生徒達が楽しく英語を学べる最新設備が整えられています。

また、同校では年1回、全生徒が英検を受検しますが、そのためのEラーニングソフトも導入し、学校と自宅のどちらでも使えるようにしています。このように充実した環境の中、ネイティブの講師と日本人の先生によるチームティーチングで質の高い授業が日々展開されています。



同校では進路のことから、学校生活のことまで、何でも気軽に先生に相談します。

から積極的に声をかけるなどして、生徒達に参加を促しています。「こうした指導の成果もあり、生徒達の学習意欲は高まっています。ここ数年は、推薦やAO入試ではなく、一般入試で難関大学を志す生徒が増えています」と山崎先生。今後のさらなる飛躍が期待できそうです。

主な大学合格実績 2013年度(2014年春)(人)

国公立大学	
大学名	人数
東京工業大学	1
東京学芸大学	1
千葉大学	2
茨木大学	1
琉球大学	1
千葉県立保健医療大学	1
早稲田大学	8
慶應義塾大学	1
上智大学	1
東京理科大学	4
学習院大学	3
明治大学	11
青山学院大学	4
立教大学	7
中央大学	5
法政大学	15
日本女子大学	2
東京女子大学	1
國學院大学	3
明治学院大学	3
東京農業大学	4
日本大学	19
東洋大学	15
駒澤大学	8
専修大学	8

※既卒生を含む